

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月7日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 協議会会場 大垣工業高等学校 本館1階 会議室
 授業参観 北舎3階 2年生普通教室
 本館4階 電子計算機実習室
 南舎2階 計測実習室、電子機器実習室、高周波実習室
 1階 計測実習室、電子機器実習室
- 4 参加者 会長 小塚 生開 共立紡機株式会社 代表取締役
 副会長 今津 秀夫 育友会会長 (欠席)
 委員 浅野 康博 イビデン株式会社執行役員 経営企画本部人事部長
 (欠席)
 竹中 拓也 太平洋工業株式会社
 コーポレート企画センター人事部 主査
 長瀬 ちえ子 大垣夢ある女性の会 事務部長
 片桐 実智 地域代表 (欠席)
 松崎 美枝子 育友会2年学年代表
 吉田 秀慈 大垣市立西中学校 校長 (欠席)
 中野 たみ子 NPOひまわりの花 理事長
- 学校側 桐山 明宏 校長
 土田 公成 副校長
 樋口 高広 教頭
 安部 博貴 教頭
 服部 明広 進路指導主事
 木村 章太 生徒指導主事

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校運営等に関する意見の申出について
 第1回学校運営協議会での意見に対する県への申出と回答について報告。
- (2) 令和5年度外部評価アンケートについて(全日制・定時制)
- (3) 全日制の現状と課題について
- (4) 定時制の現状と課題について

学校の動向についての配布資料および提示資料について説明。

意見1: 少人数で実習を実施している様子や、分割しての座学の様子を見ることができ、とても良い授業の展開をしていることがわかった。この良さを、より多くの方に知ってもらいたい。

意見 2 : 今年度の 3 年生は、これまでの卒業生に比べて欠席日数が増加している傾向にあり、他の企業の受験生、他の高校生についても同様の傾向にあるが、特別な事情がなく欠席することが多い生徒は、社会人になった時にとっても苦勞することにつながることを生徒に伝えてほしい。

⇒現在の 3 年生が中学の時にコロナ禍に入り、コロナ不安になった場合には学校を休んでよい、または休むようにと指導された経緯がある。このことは文部科学省の方針でも示されたことであり、休むことは悪いことではないという考え方によるものであった。

⇒現在は、不安による場合については欠席扱いとすることを生徒、保護者に説明して対応にあたっている。多くの企業から安易に休むことは社会人になった時に通用しないという声が届いており、将来の行く手を阻むことにつながることを生徒に伝え、欠席数を減らす指導にあたっている。

意見 3 : 学校からの情報が保護者に十分届いていないか、もしくは保護者が求めている情報が届いていないのではないかな。また、就職指導などで保護者の希望と生徒の希望が一致していない場合にも保護者の低評価に結び付く。保護者の希望、要望をふまえて情報発信すると良い。

意見 4 : 自転車に乗る際にヘルメットを着用する姿をあまり見かけない。一時期テレビ報道も盛んに行われ着用率が上昇したが、その後、あまり報道されなくなった。警察などと連携し対応にあたると良い。

意見 5 : 行事だけでなく、授業についても参観できる機会を増やせると良い。少人数での実習指導など良い面がたくさんあり、その状態を見てもらえると良い。親の前であり学校のことを話さない生徒を持つ保護者は、学校の様子があまりわからない。

意見 6 : 基本的な生活習慣が確立できていなくても、勉強できるようになることのみをとらえて、個別の支援計画が省略され、問題を抱えた状態で高校生になるケースがある。医者にも相談しても、休めば良いと言われることも多い。そこで、日常生活のリズムを壊さないようにすることを伝えていけると良い。

意見 7 : 生徒によっては、より具体的な指示を出すことが肝要である。あいまいな表現での指示が伝わらない生徒もいる。

意見 8 : 社会的に許されない事をした時に、保護者、教員など周りの者全員が同じ方向を向いて「やってはいけない事」であることを伝えていく必要がある。異なる方向の話をするものが一人でもいると、そちらの方向に流されてしまう危険性がある。また、単にダメだというだけではなく、どうすると良いのかまで伝えることが求められる。

⇒ 厳しく指導しなければならない面と、やさしく指導しなければならない面があり、関与する教員が多いほど同じ方向を向いて指導しきれていない面が生まれやすいので注意している。

意見 9 : 困難さを感じている生徒に対して、現在、外部の支援員の方はついているのか。支援員の方は専門的な見方でアドバイスを得られると思うので、外部の専門家の力を借りることは効果的に活用である。

⇒ 学校全体で 2 名の方に支援についてもらっている。今後も支援体制を継続できるように県に働きかける。

意見 10 : 今年度は運動会が保護者に公開されて良かった。学校からのメールで参観できることを知ることができたが、子供からは知らせてくれない場合がある。書面での案内とメールでの案内の併用を今後もお願いしたい。

意見 11 : 社会人として報告、連絡、相談ができるように育てて欲しい。学校からの連絡内容

についても、生徒から保護者へ報告する場面があると成長につながられる。生徒には紙媒体を配布し、保護者へのメールでは、配布してあることを連絡し、親子の会話の材料としてもらうことも効果的である。

⇒ これまでに保護者向けのメールに配布文書が表示されるリンクを掲載するよう変えてきているので、保護者への情報提供は改善されてきていると思われる。情報の提供方法や内容については今後も検討しながら進める。

(5) 第3回学校運営協議会の日取りについて

6 会議のまとめ

- ・運動会、文化祭が保護者や地域住民に公開され、保護者が生徒の様子が見られたことは好評であった。今後も、開かれた学校づくり、授業参観についての機会を設ける。
- ・実習・課題研究の授業が少人数で実施され、手厚い指導で生徒が生き生きしており良かった。
- ・学校行事の案内がメールで行われ、保護者が学校に行きやすい環境ができています。
- ・全委員より学校の取組みについて肯定的な意見が得られた。今後も継続する。
- ・就職対応中心の学校での進学対応可能な体制作りについては、県内の工業高校全体の課題ととらえ、県に対応を求めていく。
- ・自転車に乗る時にヘルメットの着用率が上がっていない状況については、対策を検討し推進する。
- ・授業やホームルームで、「学校を休むことは、企業からのマイナス評価になる」ことを指導していく。
- ・保護者が自分の子どもの特性を理解するために、学校側の努力（説明・医療に繋ぐ等）が必要であり、留意して対応にあたる。
- ・担任は生徒の成長を一番に考え、生徒指導の当たり前の指導を肯定する発言に努める。生徒への同情、保護者への安易な共感が、生徒への成長を阻むことを認識して対応する。